

環境に係る情報協議会 国営総合農地防災事業 美留和地区

1. 事業の概要（案）

◆事業の目的

本地区は、泥炭土に起因する地盤沈下の進行により、農業用排水路及び農用地の機能低下が生じており降雨時には湛水・過湿被害等が発生するなど、農業経営に大きな支障を及ぼしている。

このため、本事業では農業用排水路の改修並びに暗渠排水及び整地を行い、それらの機能を回復することにより、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全に資することを目的とする。

◆受益面積 753ha

◆主要工事計画

- ・排水路8条（7.8km）
- ・暗渠排水、整地（737ha）

2. 弟子屈町の環境に対する考え方

（「弟子屈町田園環境整備マスタープラン」より）

◆農村環境の現状と課題

【現状】

町全面積の65%を阿寒国立公園が占めている弟子屈町は、数多くの動植物が生息・生育する豊かな自然を有するとともに摩周湖・屈斜路湖等の観光資源に囲まれた地域である。

【課題】

森林資源の維持が求められており、訪れる観光客とのふれあいの場としての活用が期待されるとともに、水源かん養のための水土保持機能を維持・増進する必要がある。

また、恵まれた自然環境を生かすため、建造物の形態や色彩などに配慮し、農地や市街地等と違和感なく調和されることが重要である。

3. 事業による環境との調和への配慮

◆配慮の方針

地域の環境保全に対する基本方針等を踏まえ、地域の動植物の生息・生育環境に十分配慮した排水路工と農地保全工を実施する。

◆配慮の内容

○多様な動植物の生息・生育環境への配慮

①排水路における水辺環境の保全

- ・魚類及び水生植物の生息・生育環境に配慮した護岸工法を採用する。また、周辺からの飛来種子による法面の植生回復を図る。
- ・排水路計画路線において、現況法面の維持（回避）が不可能な場合には、保全対象生物の移植を行う。
- ・工事で伐採する植物に希少な昆虫が産卵するのを避けるため、工事による伐採を産卵期前に行う。

②工事中の濁水流出防止

- ・濁水防止施設及び沈砂池を設置し、排水路や排水本川への濁水流出を抑制することで現状の水質を維持することにより、魚類の生息環境を保全する。

③鳥類の生息環境への配慮

- ・営巣・育雛行動が確認された場合には、影響を与えない生育ステージや行動範囲を考慮した配慮区域とし、工事に制約を設けるなどの対策を行う。

○景観への配慮

④周辺牧草地との調和

- ・排水路整備及び農地の整地・暗渠排水により、緑一面に広がる牧草地の景観を回復する。